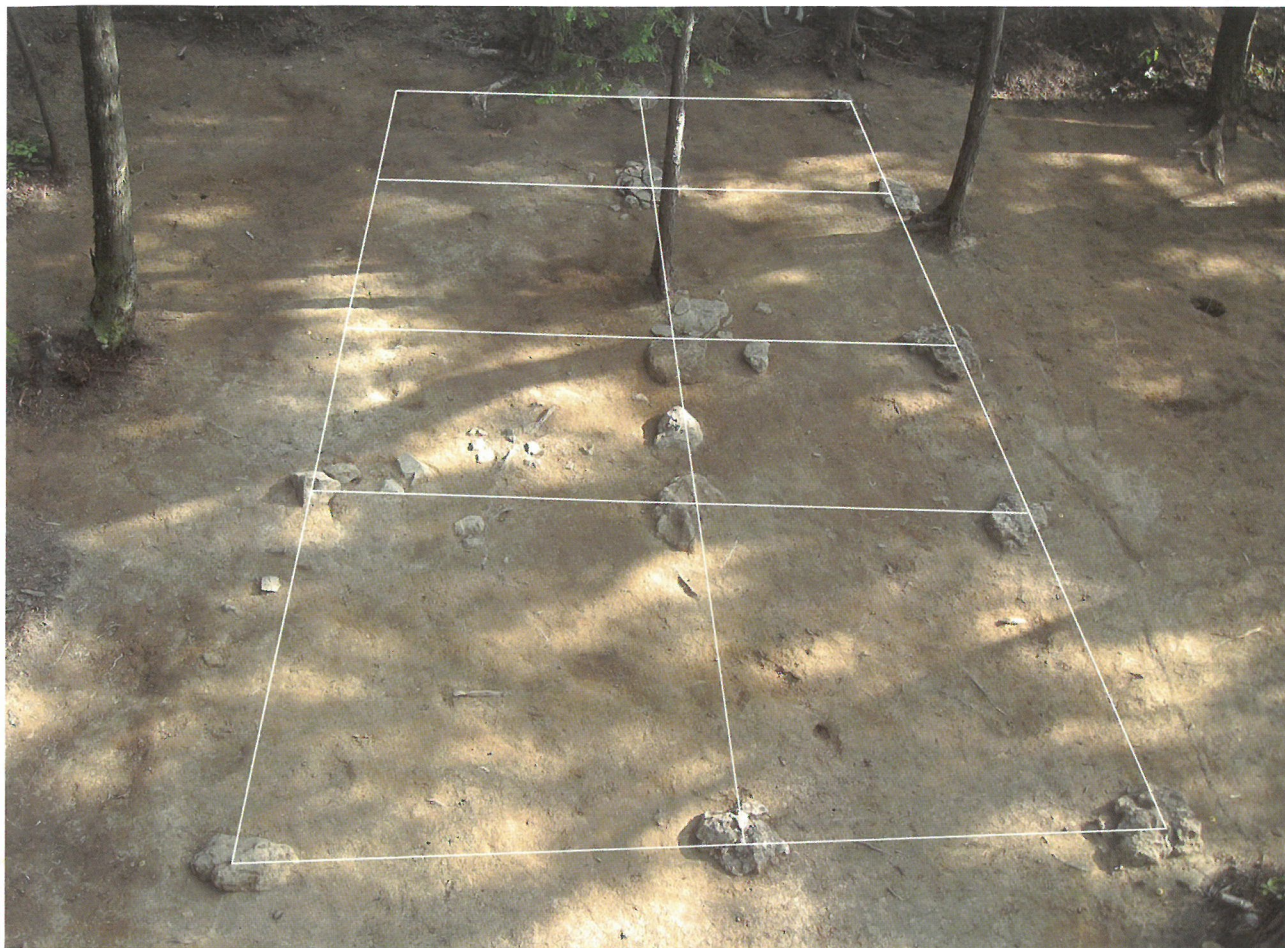


小松市埋蔵文化財調査だより

No.18 2008.03.31



8世紀前半の礎石建物

北陸最古の山林寺院^{まつたにでらあと}（松谷寺跡）の調査

平成18年度より実施している^{ちゅうぐうはちいん}中宮八院の一つである松谷寺跡の調査において、^{そせき}礎石建物を確認しました。礎石建物は2間×4間（3.4m×5.7m）の規模で、建物周辺からは8世紀前半頃の^{すえき}須恵器などが出土しています。今回確認された遺跡は、礎石建物であることや、立地や時期、出土遺物などから判断すると、僧侶が修行を行う場である山林寺院と考えられます。近畿地方以外で山林寺院が造られるようになるのは8世紀中頃から後半といわれていますが、この寺院は8世紀前半のものであり、近畿地方以外では最古期に位置づけられるものです。今回の発見は、山林寺院の研究のみならず、地方への仏教の^{はじき}拡がり、人々の信仰などを研究する上でも重要なものと言えます。

この山林寺院と松谷寺（中宮八院の成立は11世紀後半から12世紀後半と言われている）との関係は今のところ不明ですが、11世紀頃の^{はじき}土師器も出土していることから、当地で松谷寺が確認される可能性は残されています。今後の調査により松谷寺の所在や、確認された寺院と松谷寺との関係を明らかにしていきたいと思ひます。



調査地（松谷寺跡）

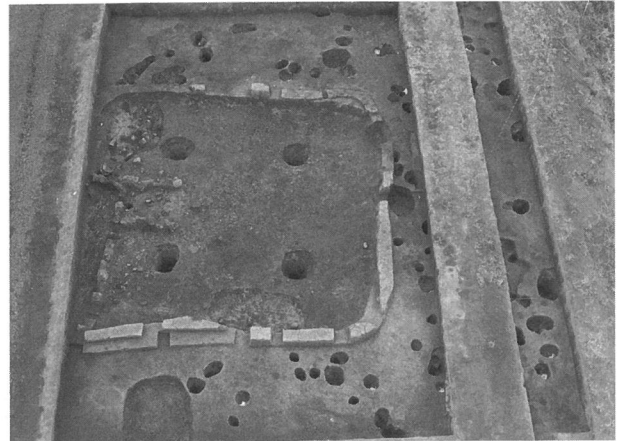
やくし い せき 薬師遺跡の調査

薬師遺跡は、現在の矢崎町にあたる、白山と木場潟を望む月津台地の北東部に位置し、飛鳥時代から平安時代にかけて営まれた集落跡です。

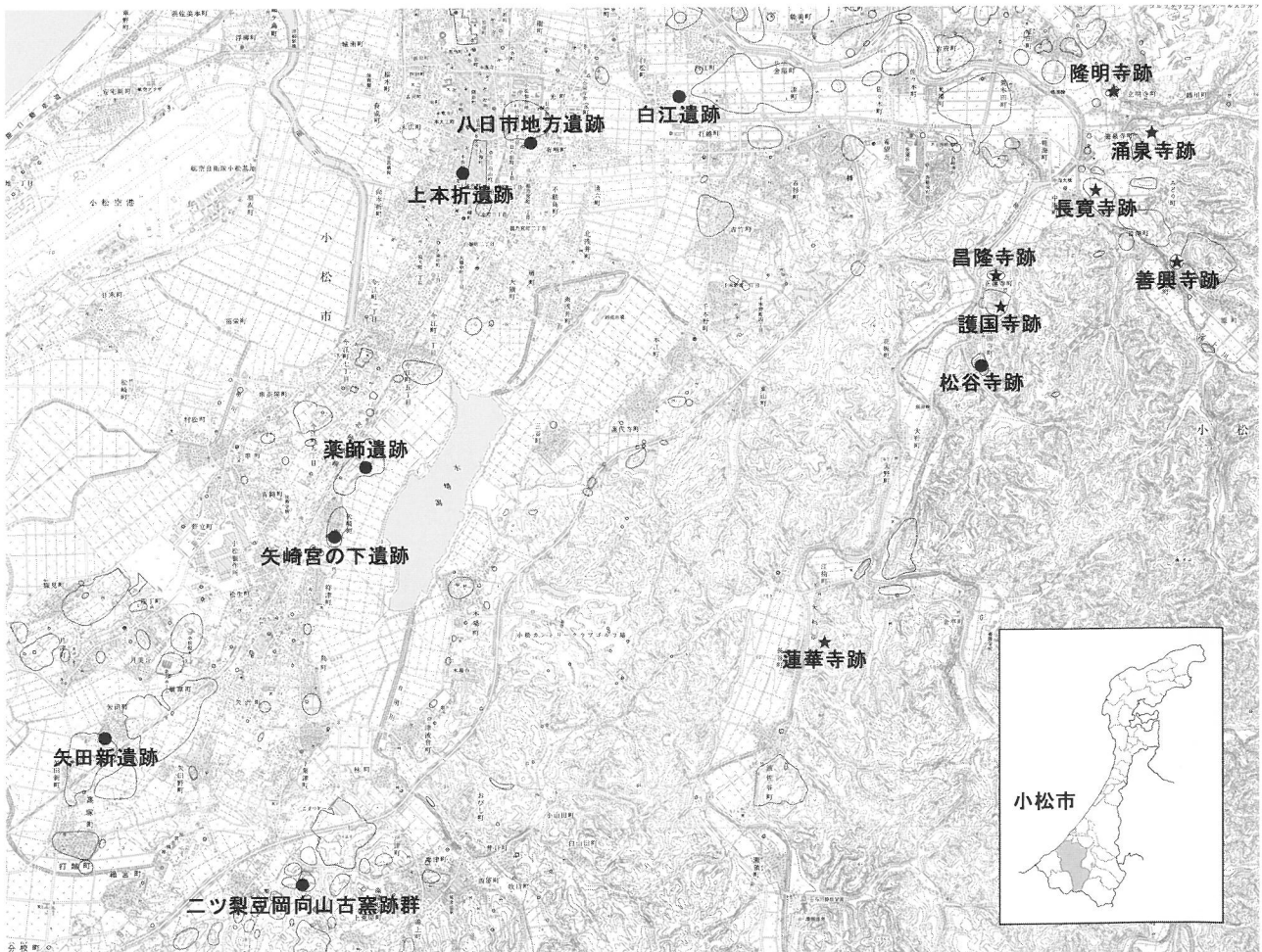
今回の調査は、個人住宅建設に伴い、住宅・車庫・擁壁部分を対象に約 125 m²の範囲で実施されました。調査の結果、L字型カマドを付設するものを含め竪穴建物が3軒、掘立柱建物が1棟、土坑が2基が見つかりました。

カマドは煮炊きする施設で、通常は煙が直ぐに家の外へ出るように、煙道を屋外へまっすぐ作られますが、L字型カマドは、片方のソデがLの字に曲がり、家の壁際に添って煙道が延びる構造のもので、全国でも発見例が少ないことで知られています。熱い煙が壁際を通るため、室内を暖める暖房装置、つまりオンドルのような役割を兼ね備えたと考えられており、朝鮮半島からの渡来系移民の住居と捉えられています。

渡来系移民の竪穴住居は、今まで、月津台地の西南部で額見町遺跡を中心に、矢田野遺跡や額見町西遺跡で発見されてきました。平成17年度の薬師遺跡の調査で、初めて台地の北東部でも発見され、今回で2例目となります。渡来系移民の集落が台地に広く分布していた可能性が、より高まったと言えます。



L字型カマドを伴う竪穴建物跡（薬師遺跡）



平成19年度発掘調査・確認調査位置● 中宮八院推定地★（S = 1 / 75, 000）

矢田新遺跡の調査

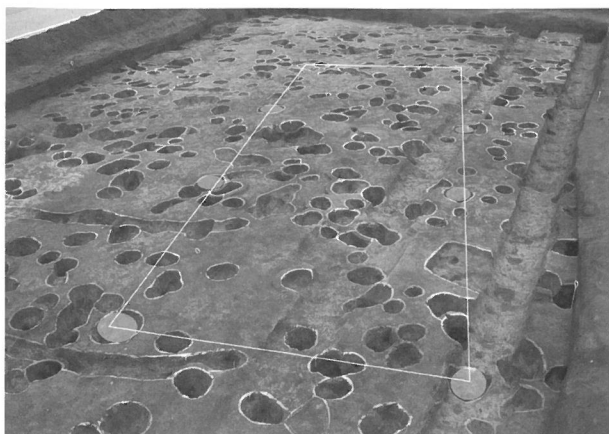
矢田新遺跡は小松市矢田町地内、JR栗津駅の南西2kmに位置します。馬渡川の開析谷に面した標高約7mの台地上に立地しています。

周辺には、矢田借屋古墳群・矢田新丸山古墳・狐森塚古墳などの古墳があります。月津台地上には多数の古墳時代後期の古墳が存在しており、これらは三湖台古墳群と総称されています。

6世紀末から7世紀初め頃、三湖台古墳群の終焉と同時に、馬渡川を挟んだ対岸の台地上に位置する額見町遺跡や月津台地北端に位置する薬師遺跡など、月津台地上には多数の集落が出現します。これらの古代集落は、丘陵地に展開する製陶・製鉄遺跡群との関連が指摘されています。また、L字型カマドを伴う竪穴建物が確認されるなど渡来系移民との関連性も考えられます。

今回の調査は、個人住宅の建設に伴うもので、建物建設部分約200㎡の調査を実施しました。遺構は、掘立柱建物7棟や土坑数基、多数の柱穴などの他、火を焚いたと考えられる地面の焼けた所も2ヶ所で確認されました。遺物は、古墳時代後期・奈良時代・平安時代の須恵器・土師器が出土しています。その他、漁撈用の網の錘である土錘も数点出土しました。

掘立柱建物の時期は不明ですが、竪穴建物が確認されていないことや、出土した遺物から判断すると、今回の調査区には奈良・平安時代の集落が存在していると考えられます。また、土錘が出土することから、西方に広がっていた柴山潟での漁撈活動も推測できます。



掘立柱建物（矢田新遺跡）

ニツ梨豆岡向山古窯跡群の調査

ニツ梨豆岡向山古窯跡群は、小松市ニツ梨町地内、小松市南部の低丘陵末端部に位置します。小松市南部には北陸最大規模の「南加賀窯跡群」が存在しており、その数は400基程と考えられます。ニツ梨豆岡向山古窯跡群はその一支群にあたります。当窯跡群では、6世紀初頭から10世紀前半までに操業された、須恵器窯13基が確認されており、このうち8基の窯跡を調査しました。

今回の調査では、農地開発に伴い約2,480㎡を対象に、平成17年度から発掘調査を実施しています。これまで約1,080㎡が完了しており、平成19年度は、約150㎡を調査しました。

調査の結果、5号窯・6号窯の手前に広がる窯



双耳瓶出土状況（ニツ梨豆岡向山古窯跡群）

の付属遺構と製炭土坑を検出しました。窯は斜面に作られるため、製品の出し入れや薪を置いておくなどの平場が必要となります。このような前庭部と呼ばれる作業場や、燃え残りの灰を溜めておいた穴、穴から続く排水溝が見つかりました。また、これらの施設から下へ続く斜面では、灰原を検出しました。灰原とは、製品の焼き損じなどの失敗品を灰とともに捨てた場所のことです。この他、5号窯前庭部の左手では双耳瓶や壺がまとめて捨てられていました。窯の周辺では、失敗品が多く出土しますが、これらを詳しく調べることによって、操業時期など多くのことがわかります。製炭土坑は、炭を作った穴の跡で、5号窯の前庭部から約3m離れたところで検出されました。須恵器窯と直接関連はないようですが、排水溝を5本も伴っていたことがわかりました。

かみ もと おり い せき

上本折遺跡の調査

市道大和末広線の道路改良工事に伴い発掘調査を実施しました。調査地は、地形や土の堆積から判断すると河川もしくは湿地の縁辺部にあたると考えられます。遺構は確認されませんでした。古墳時代前期から中世にかけての土器や木製品、鍛冶^{かじ}関連遺物などが出土しました。周辺にこの時期の集落が存在する可能性があります。



調査地（上本折遺跡）

しら え い せき

白江遺跡の調査

白江遺跡は弥生時代から中世という長い期間にわたり存続したと考えられている遺跡です。今回個人住宅の建設に伴い、発掘調査を行いました。住居や倉庫のような建物跡は見つかりませんでした。奈良時代から平安時代に使われた土器が出土しました。これらの遺物も、人々が生活していた証となる貴重なものです。



調査地（白江遺跡）

よう か い ち じ かたい せき

八日市地方遺跡の調査

八日市地方遺跡は弥生時代中期の大規模な環濠^{かんごう}集落で、北陸を代表する拠点集落として知られています。今回の調査では、縄文・弥生・古墳・中世・近世の遺物が少量出土しました。また、溝状の遺構なども確認されましたが中世以降のものと考えられます。調査地は弥生時代の環濠集落の外に位置しているようです。



調査地（八日市地方遺跡）

や ざき み や し た い せき

矢崎宮の下遺跡の調査

矢崎宮の下遺跡は白山や木場潟を眼下に眺望できる見晴らしのよい台地上にあります。調査では、竪穴建物3棟、溝などが見つかりました。特に竪穴建物は、飛鳥時代から奈良時代へと時期を隔てて建てられていたことが出土した多量の土器からわかりました。ここで生活していた人たちも周辺の美しい景色を望んでいたことでしょう。



竪穴建物（矢崎宮の下遺跡）

平成19年度埋蔵文化財調査事業一覧

発掘調査

遺跡名	調査地	調査期間	原因	時代	遺跡の種類	調査面積
上本折遺跡	上本折町	4/1～4/13	道路改良工事（市）	古墳～中世	散布地	37 m ²
薬師遺跡	矢崎町	4/9～5/9	住宅建設（民）	古代	集落跡	125 m ²
矢田新遺跡	矢田町	5/21～7/12	住宅建設（民）	古代	集落跡	200 m ²
白江遺跡	白江町	6/4～6/25	住宅建設（民）	古代	散布地	92 m ²
二ツ梨豆岡向山古窯跡群	二ツ梨町	10/2～11/30	果樹園平地化事業（民）	古代	窯跡	150 m ²
八日市地方遺跡	日の出町	10/1～11/2	店舗建設（民）	弥生・中世	散布地	132 m ²
矢崎宮の下遺跡	矢崎町	11/15～12/10	店舗併用住宅建設（民）	古代	集落跡	108 m ²

確認調査

遺跡名	調査地	調査期間	原因	時代	遺跡の種類	対象面積
松谷寺跡	五国寺町	8/20～9/27	学術調査	古代	寺院跡	約8,000 m ²

試掘調査

開発事業名称	調査地	調査日	備考
工場建設（民）	安宅新町	4/19	埋文は確認されず
農地平地化（民）	矢崎町	4/20	埋文は確認されず
校舎改築事業（市）	小寺町	4/26	埋文は確認されず
工場建設（民）	吉竹町	5/8	埋文を確認 吉竹C遺跡
住宅建設（民）	白江町	5/11	埋文を確認 漆町遺跡
住宅建設（民）	串茶屋町	5/21	埋文は確認されず
共同住宅建設（民）	白江町	5/29	埋文は確認されず
公園整備（市）	矢田野町	6/4・5	埋文を確認 矢田野エジリ古墳
埋文センター建設（市）	原町	6/7	埋文は確認されず
宅地分譲（民）	符津町	6/13	埋文は確認されず
宅地造成（民）	高堂町	6/18	埋文は確認されず
住宅建設（民）	木場町	6/19	埋文は確認されず
住宅建設（民）	大和町	7/3	埋文を確認 本折城跡
店舗建設（民）	日の出町	7/4	埋文は確認されず
道路改良工事（市）	今江町	7/9	埋文は確認されず
共同住宅建設（民）	矢田野町	7/18	埋文は確認されず
斎場建設（市）	日末町	7/24	埋文は確認されず
住宅建設（民）	月津町	7/26	埋文を確認 月津A遺跡
住宅建設（民）	矢崎町	7/26	埋文を確認 薬師遺跡
土地売買（民）	大領町	8/21	埋文は確認されず
介護事業所整備（民）	島町	8/22	埋文は確認されず
住宅建設（民）	千代町	8/22	埋文は確認されず
住宅建設（民）	吉竹町	8/30	埋文は確認されず
住宅建設（民）	千代町	9/3	埋文は確認されず
住宅建設（民）	小野町	9/4	埋文は確認されず

開発事業名称	調査地	調査日	備考
共同住宅建設（民）	白江町	9/5	埋文は確認されず
市営住宅建設（市）	川辺町	9/20	埋文は確認されず
住宅建設（民）	今江町	10/3	埋文は確認されず
店舗併用住宅（民）	矢崎町	10/4	埋文を確認 矢崎宮の下遺跡
農地平地化（民）	矢崎町	10/9	埋文は確認されず
宅地分譲（民）	串茶屋町	10/17	埋文は確認されず
病院建設（民）	今江町	10/25	埋文は確認されず
道路改良工事（市）	長田町	10/25	埋文は確認されず
農地平地化（民）	二ツ梨町	10/29 ～11/13	埋文を確認 二ツ梨豆岡向山古窯跡群 二ツ梨ガミハ古窯跡群
宅地分譲（民）	今江町	11/9	埋文は確認されず
住宅建設（民）	吉竹町	12/13	埋文は確認されず
道路改良（市）	滝ヶ原町	12/19	埋文は確認されず
住宅増築（民）	木場町	1/15	埋文を確認 池田城跡
住宅建設（民）	高堂町	1/22	埋文は確認されず
倉庫建設（民）	扇原町	1/22	埋文は確認されず
住宅建設（民）	矢崎町	1/22	埋文を確認 薬師遺跡
住宅建設（民）	白江町	2/5	埋文を確認 漆町遺跡
住宅建設（民）	千代町	2/6	埋文は確認されず
住宅建設（民）	月津町	2/19	埋文は確認されず
住宅建設（民）	千代町	3/1	埋文は確認されず
住宅建設（民）	能美町	3/10	埋文は確認されず
貸店舗建設（民）	符津町	3/12	埋文は確認されず
共同住宅建設（民）	丸内町	3/13	埋文は確認されず
住宅建築（民）	木場町	3/13	埋文は確認されず
住宅建築（民）	野田町	3/21	埋文は確認されず

*（市）は市営事業、（民）は民間事業を示す。

まいぶん講座

埋蔵文化財調査室では、平成15年度より発掘調査の成果や地域の歴史を知っていただくことを目的とした「まいぶん講座」を開催しています。平成19年度は、第21～24回の4回を行い、通常の講座の他、バスによる現地見学ツアーやフォーラムなどを開催しました。

第21回まいぶん講座

「バスで行く 能美・江沼の古墳巡り」

あきつねやま 秋常山古墳群・こうだやま 和田山古墳群・ののみし 河田山古墳群・狐山古墳・法皇山横穴群など能美市・小松市・加賀市に所在する古墳を見学しました。このような現地を見学するバスツアーは初めての試みでしたが、大変好評で「また行きたい」という声を多数いただきました。このような遺跡や遺物を直に見学できる企画を、これからも定期的で開催したいと思っています。



第21回 バスで行く 能美・江沼の古墳巡り

第22回まいぶん講座

「フォーラム 古墳時代後期の江沼と三湖台古墳群」

平成19年が継体天皇の即位より1500年の節目にあたることもあり、継体天皇と関わりのある古墳時代後期の江沼地方をテーマに取り上げフォーラムを開催しました。菱田哲郎氏（京都府立大学 准教授）、伊藤雅文氏〔(財) 石川県埋蔵文化財センター〕を講師に迎え、三湖台古墳群や南加賀窯跡群、能美・江沼地方の古墳の動向など3本の報告と座談会を行いました。小松市内だけでなく、県外からの参加者もあり、北陸地方での継体天皇への関心の高さがみられました。

今後も皆様の要望に応えながら、より良い充実した「まいぶん講座」にしていきますので、楽しみにしていて下さい。なお、平成20年度のまいぶん講座は次のとおりです。是非ご参加下さい。



第22回 フォーラム 古墳時代後期の江沼と三湖台古墳群

平成20年度 まいぶん講座

日程：第25回まいぶん講座 6月15日（日）
第26回まいぶん講座 8月2日（土）
（特別企画）
第27回まいぶん講座 12月7日（日）
第28回まいぶん講座 3月7日（土）
会場：第一地区コミュニティセンター
第26回は、小松市立博物館・市民ギャラリー

平成20年度は、松谷寺跡調査に合わせた内容や、夏休み期間中には、特別企画として、子供も参加できる、古代の様子をテーマに行っていきます。

小松市教育委員会 埋蔵文化財調査室

〒923-0801 石川県小松市園町木62番地 TEL:0761-24-8132 / FAX:0761-20-1194
http://www.city.komatsu.lg.jp/kakuka/maibun/ka_top.asp e-mail address:maibun@city.komatsu.lg.jp